

平成24年度入学試験問題（推薦入試Ⅰ）

小論文

農学部 亜熱帯生物資源科学科

注 意 事 項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙のほかに、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、90分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

SF (science fiction, 空想科学)映画や SF 小説, アニメなどでは, しばしば未来の科学技術がストーリーの随所に描かれ, その物語の内容を豊かに, あるいは楽しくも, つらくもし, 時には恐怖を与えたりしています。これらの SF 作品においては未来の科学技術は必要不可欠な道具と言えるでしょう。しかしながら, その中で取り扱われている科学技術には実現の可能性がある場合と実現の可能性がほとんど無い場合とがあります。

問1 自然科学的に「ナンセンス」または「あり得ない」と感じたことのある SF 作品 (映画, 小説, アニメなど) の場面の一つを例に挙げ, これがなぜ「ナンセンス」または「あり得ない」のかを 200 字以上, 400 字以内で説明しなさい。

問2 SF 作品で「こんなことが現実になったら私たちの生活がより豊かになるのに」と思ったことのある科学技術 (もし無ければ, 自分自身の創作でも良い) で, 将来実現可能と思われるものが, どのような自然科学の原理に基づき, 私たちの暮らしや社会にどのような影響や利益を与えるかを 300 字以上, 600 字以内で説明しなさい。

(注意) 解答の際, 設問番号を文頭に明記すること (設問番号は字数に含めない)。

平成24年度入学試験問題（推薦入試Ⅰ）

小論文

農学部 亜熱帯生物資源科学科

出題の意図

亜熱帯生物資源科学科の目指すバイオテクノロジーに基づく製品や資源の開発，これらの産業への応用には，技術に対する正確な批判力とともに，自由な発想が必要とされる。また，これらの発想を実現するには堅実な論理の構築が不可欠である。

本試験では，自然科学に立脚する科学技術について，上記の観点から，いかに筋道立てて自らの意見を組み立てることができるかをみる。